

# 総務文教常任委員会

7 議案 可決  
2 請願 不採択

市政の運営方針や財務、税務、学校教育、社会教育に関することなどの議案等を審査しています。

## 行田市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

**問** トレーニング室の使用料を値上げする理由は何か。

**答** 使用料・手数料見直し基本方針に基づく原価算定方式により計算された結果である。

また、平成27年度からリースによる機器の入れ替えを実施しており、これらの経費も加味し、引き上げることとしたものである。



トレーニング室

## 平成29年度行田市一般会計予算

**問** 景気も上向きになっており、税収も増えているが、前年度と比べ予算総額が減額となっている。なぜもつと積極的な予算編成を行わなかったのか。

**答** 平成29年度は前年度に比べ6億4,000万円の減額となっており、緊縮型の予算編成となっている。この最大の要因は大規模建設事業の減少によるもので、その財源は主に特定財源としての市債であった。しかし、市税、地方贈与税、各種交付金、臨時財政対策債までを合計した一般財源の合計は約174億円程度と、前年度とほぼ同額となっている。このようなことを勘案すると例年と同様の厳し

い予算編成であった。

## ふるさと納税

**問** 本市も記念品争いの傾向にあるのではないか。

**答** 記念品を平成27年7月から約30品目用意しており、平成28年度では、約150品目以上に増やし、積極的に呼びかけている。また、国が注意喚起している華美な返礼品については一切該当するものはなく、全て市に関係する地場産品である。このように、ふるさと納税の趣旨である地域産業の振興という面からも、有効に活用しているところである。

## ふるさとづくり事業

**問** 本事業を行うことにより、まちなががどうなることを想定しているのか。

**答** 足袋蔵の改修等、行田ならではの地域資源を活用し、新たなまちの顔をつくるという趣旨で取り組んでいるものである。交流人口の拡大、市内回遊性の向上、地域経済の活性化を図るとともに、道路の美装工事、チャレンジショップ等、ハード、ソフト両面での事業と一体となり、まちなかのにぎわい創出につなげるものである。

るものである。

## パワーアップサポーター事業

**問** サポーターを配置したところによる検証及び効果は。

**答** 平成28年度はサポーターに対しアンケート等を2回実施し、検証を行ったところである。効果として、個別指導の充実や担任の指導力向上にもつながっているが、アドバイザーする時間が十分でなくも少し教えたい、少人数学級の進め方の改善を行う必要がある、個別指導と二斉指導の兼ね合いが難しい、継続的に

指導ができないなどの課題等もあつた。なお、今後は担任、子どもたちの意見も取り入れられるよう、多面的なアンケートを実施し、さらに充実していきたい。

## コミュニティ・スクール事業

**問** コミュニティ・スクール事業を実施する理由は何か。

**答** 地域と学校が同じ目標に向かつて進み、学校と地域の組織的、継続的な連携、協働体制を確立していくことを目指している。そのためには、地域と学校が集まる機会を積極的に増やし、意見の聴取等を行う予定である。



審査風景